

日本キリスト教団 土佐教会

復活節第7主日 礼拝順序

週報<在宅礼拝版>

新型コロナに関する土佐教会の対応について

5月3日の役員会で、5月7日以降の対応について協議しました。その結果、現在の対応を5月末まで延長することにしました。引き続き、「在宅礼拝」とし、祈禱会は休会します。それ以外の集いや活動も当面中止延期とします。

現時点では、6月より日曜礼拝及び聖研祈禱会を再開とする予定です。その他の集いや活動は今後、段階的に再開することにします。なお、状況次第では対応の変更があるかもしれませんので、予めご了承ください。ご理解とご協力をお願い致します。

「在宅礼拝」について

- ・出来る限り同じ時間、同じ順序で礼拝を守りましょう。
- ・聖書や讃美歌の用意のない方は、事前に教会にお知らせくだされば準備させていただきます。
- ・献金は、次に教会に行った時に献げましょう。
- ・週報と讃美歌は教会ホームページでもご覧になれます。福音告知の音声も5/3よりHPで聴くことが可能です。

黙 禱

讃美歌 467 ♪われらを導く

主の祈り

聖 書 使徒言行録8章26～38節

お 祈 り

福音告知 「ガイドはイエス。」

讃美歌 497 ♪この世のつとめ

献 金

讃美歌 403 ♪聞けよ、愛と真理の

黙 禱

○ 聖書 使徒言行録8章26～38節

さて、主の天使はフィリポに、「ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け」と言った。そこは寂しい道である。フィリポはすぐ出かけて行った。折から、エチオピアの女王カンダケの高官で、女王の全財産の管理をしていたエチオピア人の宦官が、エルサレムに礼拝に来て、帰る途中であった。彼は、馬車に乗って預言者イザヤの書を朗読していた。すると、「霊」がフィリポに、「追いかけて、あの馬車と一緒にいけ」と言った。フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ。彼が朗読していた聖書の箇所はこれである。

「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。毛を刈る者の前で黙している小羊のように、口を開かない。卑しめられて、その裁きも行われなかった。だが、その子孫について語れるだろう。彼の命は地上から取り去られるからだ。」

宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、だれについてこう言っているのでしょうか。自分についてですか。だれかほかの人についてですか。」そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの箇所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。道を進んで行くうちに、彼らは水のある所に来た。宦官は言った。「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」そして、車を止めさせた。フィリポと宦官は二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼を授けた。



## ○ お祈り

下記のことを覚えていただき、各自自由にお祈りください。一人一人のお祈りを等しく汲み上げてくださる主が、御心と祝福をもって応えてくださいますように。

・新型コロナ感染拡大が一日も早く終息しますように。治療に専念されたり自宅待機されている方々が守られますように。拡大防止や終息のために、各分野の最前線に従事している方々が支えられますように。段階的な自粛緩和が適切に進められ、感染症対策に誠実に取り組んでいけますように。各自が担う尽力、自粛、忍耐が豊かな実を結びますように。

・教会につながる方々、互いにお祈りに覚える方々に、困難の只中にこそ主が共におられるイースターの恵みが、益々豊かにありますように。

・聖泉幼稚園—家庭保育の協力期間を終了し、25日(月)より通常保育が再開します。園庭に全園児16名の笑顔と歓声が戻りますように。教職員共々、それぞれのご家庭の日々の歩みが守られ、支えられますように。



## ○ 福音告知

使徒言行録 8 章でエルサレムの教会に大迫害が起こったと書かれています。使徒たちがエルサレムに留まる中、一人フィリポはサマリアへ逃げました。

そして彼はサマリアからも逃げました。それが今日の聖書の出来事です。ペトロらはフィリポを叱りに来たものではありません。でも自らの後ろ暗さに耐え兼ねたフィリポは、天使からのお告げに従ってガザへの寂しい道を下って行くのです。

誰にも会うはずのないその道行に、エチオピアの高官がいました。高官から聖書の説明を求められ、「お分かりになりますか」と問うたフィリポに「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と高官は答えます。

この返答で初めてフィリポは、自分が用いられていることを実感します。彼に手引きを求めたのはエチオピアの高官でした。でも自分こそ手引きが必要だと思ったのです。自分を手引きしたのはこの高官でしたが、真の手引きは既に与えられていました。イエスと言う名のガイドです。

私たちは人生において課題や目標に真正面から取り組み、乗り越えることができたなら、それは素晴らしいに違いありませんが、いつでもどこでも誰でもそうできるとは限りません。そう強くはないからです。

でも逃げた場所で用いられる。後ろ向きであっても託される。どんな人にもその人に合わせたガイドが与えられる。それが主イエスなのです。

(高橋伸明)

## 【報告】

(1) 17日「在宅礼拝」@礼拝堂—出席：男性2名/女性3名/計5名。献金/9,700円。

(2) 18日、藤原やよいさん・藤原建次さん夫妻が来会、先日の葬儀についてお礼のご挨拶をいただきました。主の平安と慰めをお祈りします。

## 【お知らせ】

(1) 4月19日から始めた「在宅礼拝」は、次週31日迄、6月から日曜礼拝及び水曜日祈禱会を再開する予定です。その後、他の集いや活動も段階的に再開していく見通しです。その場合、5月31日のペンテコステ礼拝は、再開に合わせて6月7日に延期して守ります。なお、今後の状況次第では対応を変更することがありますので、予めご了承ください。その場合はお知らせします。

(2) 本日24日在宅礼拝後、臨時役員会を予定しています。新型コロナに関する今後の対応を話し合います。

(3) ペンテコステ礼拝は昨年同様、聖霊降臨の象徴に因んで赤いものを身に着けて礼拝を守ります。衣服、リボン、スカーフなど、各自で準備できる方はご予約ください。教会では赤いリボンを準備する予定ですので、用意のない方はご利用ください。

(4) 教会事務室及び幼稚園職員室で、各種献金をお預かりすることが可能です。ご用命の際は事前にお電話くださると確かです。